

2026 年度 シラバス

科目名	情報倫理	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	済生会職員 外部講師
目標	対象を中心とする情報の守り方として情報倫理を学ぶ。						
DP との関連	<IV.専門職業人として成長・創造・探求する力> 豊かな人間性の基盤となる幅広い教養を身につけることができる 専門職業人としての責務を自覚し、職業倫理に則って行動できる						
授業計画	1. 情報倫理と医療 2. 患者の権利と情報 3. 個人情報の保護 4. 情報リテラシーとセキュリティ 5. SNS について 6. 情報社会の生活 7. 情報発信と管理の実践						
授業の進め方	講義 演習						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	看護情報学（医学書院）						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

## 2026年度 シラバス

科目名	看護マネジメント・医療安全	単位数	1	時間数	30	講師	専任教員（看護師） 済生会職員
目標	看護マネジメントの基礎的知識を理解する。 チーム医療を实践・調整するための基礎的知識が理解できる。 医療事故およびヒューマンエラーの概念を理解できる。 間違いを起さないための自己モニタリングする必要性を理解できる。 安全を守るための看護師の責任について理解できる。						
DP との関連	<II.良い人間関係を形成する力> 自己の思いや考えを表現し、他者に効果的に伝える工夫や配慮ができる <III.看護を实践する力> 最適な看護実践の提供を目指し、振り返り、評価することができる <IV.専門職業人として成長・創造・探求する力> 専門職業人としての責務を自覚し、職業倫理に則って行動できる 自己の取り組むべき課題を見出し、課題解決に向けて行動できる						
授業計画	1. 看護とマネジメント 2. 看護ケアのマネジメント 3. 看護職のセルフマネジメント 4. 看護サービスのマネジメント 5. マネジメントに必要な知識と技術 6. 看護を取り巻く諸制度 7. 看護師の労働安全衛生上の事故防止 8. 事故防止の考え方を学ぶ 9. 業務領域をこえて共通する間違いと発生要因 10. 組織的な安全管理体制への取り組み 11. 医療安全対策の国内外の潮流 12. 医療安全を学ぶことの大切さ 13. 診療の補助の事故防止 14. 療養上の世話の事故防止 15. 医療安全とコミュニケーション						
授業の進め方	講義 演習 グループワーク						
評価方法	筆記試験 100点						
テキスト 参考文献	看護の統合と実践 [1] 看護管理 (医学書院) 看護の統合と実践 [2] 医療安全 (医学書院)						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	看護研究	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	専任教員（看護師）
目標	看護研究に関する一般的知識を身につけ、主体的に学び続ける姿勢を養う。臨地実習で学んだ看護体験を客観的に振り返り、ケースレポートとしてまとめる能力を習得する						
DP との関連	<p>&lt;Ⅲ.看護を实践する力&gt;</p> <p>最適な看護実践の提供を目指し、振り返り、評価することができる</p> <p>&lt;Ⅳ.専門職業人として成長・創造・探求する力&gt;</p> <p>自己の取り組むべき課題を見出し、課題解決に向けて行動できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護者の倫理綱領</li> <li>2. 研究とは</li> <li>3. 研究における倫理的配慮</li> <li>4. 研究デザイン、データの収集・分析</li> <li>5. 研究計画書</li> <li>6. 看護研究の始め方（リサーチクエスション）</li> <li>7. 情報の探索と吟味</li> <li>8. 研究を伝える</li> <li>9. ケースレポート</li> </ol>						
授業の進め方	講義 課題 発表						
評価方法	総合評価 100 点満点（ケースレポート作成・発表 60 点 課題 30 点 小テスト 10 点）						
テキスト 参考文献	看護研究(医学書院)						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	看護の統合と実践	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	専任教員（看護師） 済生会職員
目標	既習の知識と技術を統合し、より臨床実践に近い事例を通して多重課題への看護実践能力を養う。 その場、その時の患者の反応に気づき、解釈し、対処し、省察する臨床判断を使って具体的な看護実践の方法を学ぶ。						
DP との関連	<p>&lt;III.看護を実践する力&gt;</p> <p>根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる</p> <p>最適な看護実践の提供を目指し、振り返り、評価することができる</p> <p>&lt;IV.専門職業人として成長・創造・探求する力&gt;</p> <p>専門職業人としての責務を自覚し、職業倫理に則って行動できる</p> <p>自己の取り組むべき課題を見出し、課題解決に向けて行動できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ME 機器の取り扱い方</li> <li>2. 事例に対する看護実践             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 入院から退院までの看護実践</li> <li>2) 夜間における看護実践</li> <li>3) 多重課題における看護実践</li> <li>4) 地域との連携における看護実践</li> </ol> </li> <li>3. 未経験、経験の少ない技術</li> </ol>						
授業の進め方	講義 演習 課題						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 50 点 実技試験 30 点 レポート 20 点）						
テキスト 参考文献	基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ(医学書院) 臨床看護総論（医学書院）						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	済生会概論	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	専任教員（看護師）
目標	済生会の理念、活動、社会に果たす役割を理解する。						
DP との関連	< I.済生の力> 生命と人生を尊び、他者への思いやりや寄り添う気持ちをもつことができる 自己・他者・ものを大切にできる豊かな人間性を身につけることができる < III.看護を实践する力> 保健・医療・福祉制度と他職種の機能と役割を理解することができる < IV.専門職業人として成長・創造・探求する力> 国内外の社会の変化に関心を持ち、対応しようとする姿勢を持つことができる						
授業計画	1. 済生会とは 2. ソーシャルインクルージョン 3. 済生会とソーシャルインクルージョン 4. みんなが自分らしく生きていくために 5. 済生会の組織人として						
授業の進め方	講義 課題 グループワーク 発表						
評価方法	総合評価 100 点満点（グループワークや発表、課題など）						
テキスト 参考文献	済生会諸資料						

\* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります